

平成26年度
商店街通行量調査
結果報告書

平成27年2月
熊本市・熊本商工会議所

はじめに

我が国の経済情勢は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響も全体として和らいでおり、基調的に緩やかな回復を続けております。しかし、一方では海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっているなど、中小企業をはじめ地域経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、商店街を取り巻く環境は厳しく、郊外大型店のほか、ドラッグストア、ディスカウントストア等の出店をはじめ、プライベートブランドによる低価格化やインターネットショッピングの普及など、小売業全体における競争が激化しております。また、商店街としても店主の高齢化や後継者不足に加え、財源不足により安全安心な商環境の維持管理が困難になるなど、様々な課題を抱えている状況にあります。

さて、本市は、今年、政令指定都市に移行して4年目を迎え、セカンドステージへの大きな飛躍が期待されているところであり、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向けて取り組んでまいります。

商店街の活性化を検討する上では、従来の商業集積地・消費地としての機能はもとより、住民の交流拠点・憩いの場、防犯・防災等の自治活動の主体、地域コミュニティの担い手としての機能と役割の重要性が高まっていることを踏まえ、ニーズに応じた実効性のある取組みにつなげることが大切であります。

本調査は、市内主要商業地の利用状況の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に資することを目的に、昭和43年から実施しているものです。

平成26年度は、10月17日（金）・10月19日（日）に市内37地点において調査を実施しました。

その調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたしますとともに、本調査にご協力いただきました商店街並びに関係者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

平成27年2月

熊 本 市

熊本商工会議所

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	2 P
2. 実施期間	2 P
3. 調査日時	2 P
4. 調査対象	2 P
5. 調査方法	2 P
6. 調査地点	2 P
(1) 調査地点	2 P
(2) 調査地点名の変更	2 P
7. 平成26年度調査地点一覧	3 P
8. 調査地点図	4 P

II 調査結果

1. 調査結果の概要	5 P
(1) 調査結果の前提	5 P
(2) 調査日の天候	5 P
(3) 前回調査以降の主な動き	5 P
(4) 中心商店街の通行量	6 P
(5) 熊本駅・地域商店街の通行量	6 P
(6) 全体の通行量	8 P
2. 地区別概要	9 P
(1) 中心商店街の地区別概要	9 P
(2) 熊本駅・地域商店街の地区別概要	11 P
(3) 通行量上位地点ランキング	13 P
3. 各地点の調査結果と平成25年度調査結果との比較	14 P
4. 進行方向別通行人数	15 P
5. 過去の調査結果一覧	17 P
6. 各調査地点の通行量詳細	23 P